

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2023 年 第 20 週（5 月 15 日～5 月 21 日）

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1 人 類型 患者 1 人 血清型 O157 1 人
四類感染症 E 型肝炎	5 人 推定感染地域 国内 5 人
つつが虫病	1 人 推定感染地域 国内
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人 病型 腸管アメーバ症
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp.
急性弛緩性麻痺	1 人 病原体 不明
急性脳炎	2 人 病原体 単純ヘルペスウイルス 2 型 1 人 不明 1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
水痘（入院例に限る）	1 人 病型 検査診断例
梅毒	9 人 病型 早期顕症Ⅰ期 5 人、 早期顕症Ⅱ期 4 人
播種性クリプトコックス症	1 人

## &lt;定点把握対象疾患の患者情報&gt;

小児科及び内科定点把握対象疾患では、**新型コロナウイルス感染症**の定点当たり報告数（3.03→4.42：図 1-2）は増加した。保健所別では、鴻巣（7.32）、南部（6.63）、幸手（6.07）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、40 歳代以上の割合が増加した。**インフルエンザ**（1.45→1.29→2.17：図 3）の定点当たり報告数は、緩やかに減少していたが増加した。保健所別では、熊谷（6.23）、狭山（5.28）、秩父（4.60）保健所管内からの報告が多い。**RS ウイルス感染症**（0.56→0.75→1.21：図 4）の定点当たり報告数は、2 週連続で増加し、今後の流行が懸念される。保健所別では、幸手（2.78）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳以下の報告が多く、全体の 61%を占めている。

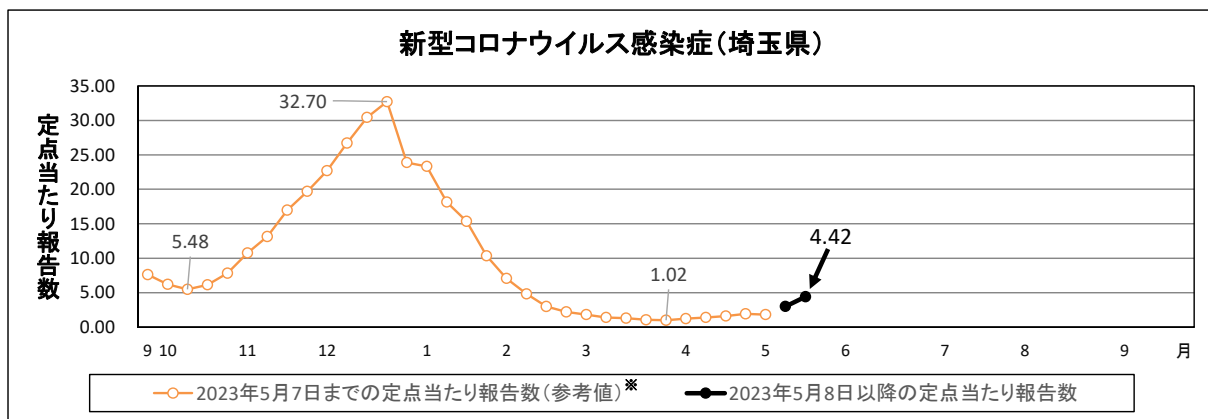
眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 4 人、**流行性角結膜炎** 10 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**細菌性髄膜炎** 1 人、**インフルエンザ（入院）** 4 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>）で御覧になれます。

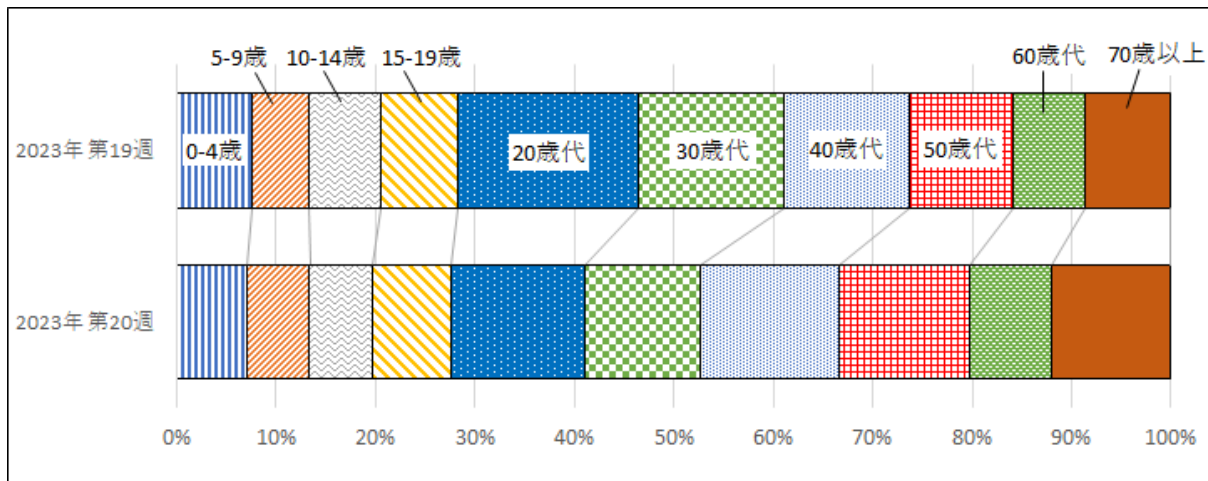
<新型コロナウイルス感染症発生状況（第20週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 定点当たり報告数の推移



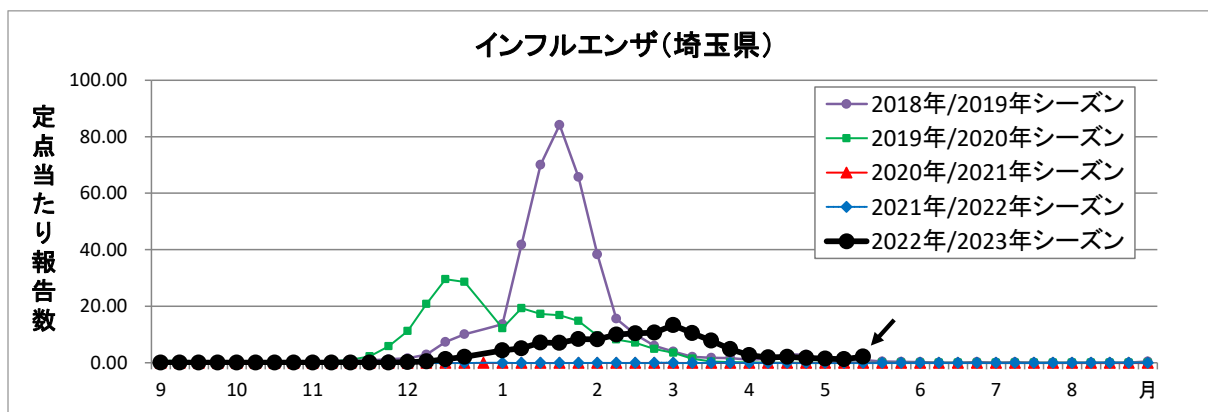
※2022年9月26日から2023年5月7日までの全数報告のデータを元に定点当たり報告数を推計し算出しました。

図2 年齢階級別報告割合の推移（2023年第19週～第20週）



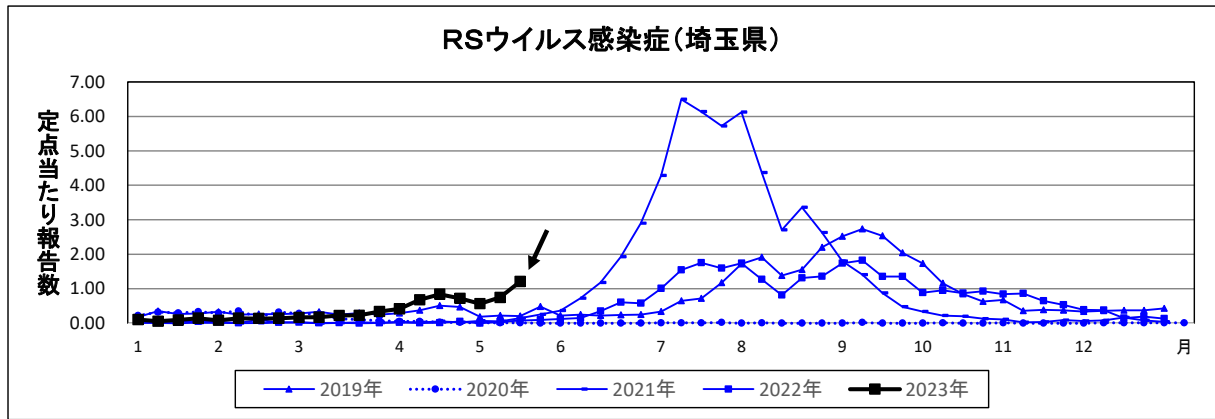
<インフルエンザ流行情報（第20週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図3 定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図4 RSウイルス感染症



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第20週)

(2023年5月23日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	1	26			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎	5	20	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサヌル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘		4	ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		18
つつが虫病	1	2	レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢	1	11	侵襲性肺炎球菌感染症	1	27
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)	1	4
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	24	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1	3	梅毒	9	167
急性脳炎	2	15	播種性クリプトкокクス症	1	3
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		13	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		12	百日咳		13
ジアルジア症		2	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		3	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第20週

5月15日~5月21日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)	
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 21.7	563	1,150	197	83	210	1,540	21	56	5	63	66	10	4	10	1	-	-	-	-	-	4
朝 霞	報告数 1.70	39	109	9	13	10	196	7	1	-	6	9	4	-	3	-	-	-	-	-	-	3
鴻 巣	報告数 1.00	19	139	17	6	7	117	-	8	-	8	1	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 0.75	6	24	-	2	-	43	1	2	1	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数 4.60	23	6	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 3.71	26	18	2	3	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数 6.23	81	44	-	1	8	71	-	2	-	1	9	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
加 須	報告数 2.50	25	23	5	1	2	1	1	3	-	3	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数 1.40	14	54	13	5	28	161	-	7	-	3	5	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 3.21	45	85	25	6	8	34	-	3	-	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 0.90	9	45	4	3	2	53	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草 加	報告数 1.42	27	113	18	14	13	106	-	12	1	2	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 5.28	132	147	14	17	34	94	3	10	1	6	8	-	4	2	-	-	-	-	-	-	1
南 部	報告数 3.38	27	53	11	-	19	75	-	1	-	5	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
川 越 市	報告数 0.50	7	44	2	-	3	42	-	1	-	1	6	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 1.08	14	54	10	2	5	80	2	3	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川 口 市	報告数 1.37	26	94	25	6	36	161	3	-	-	7	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
さいたま市	報告数 1.00	43	98	40	4	32	305	4	3	1	10	9	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	1.00	2.28	1.43	0.14	1.14	10.89	0.14	0.11	0.04	0.36	0.32	0.04	-	0.11	1.00	-	-	-	-	-	-

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

5月 23日

14:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第20週 5月15日~5月21日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	563	2	2	10	9	24	38	37	41	55	59	38	149	20	15	16	36	4	8	-	-
新型コロナウイルス感染症	1,150	10	13	14	17	16	12	19	14	15	12	12	72	92	154	133	161	152	94	89	49
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	197	19	37	66	23	34	8	6	1	-	1	1	1	-	-						
咽頭結膜熱	83	1	4	27	13	20	6	8	3	1	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	210	-	1	11	12	23	35	32	26	17	16	3	21	3	10						
感染性胃腸炎	1,540	8	82	209	164	231	209	180	105	85	75	36	78	12	66						
水痘	21	-	1	1	3	1	2	2	1	2	3	3	2	-	-						
手足口病	56	-	3	21	14	5	5	3	3	-	1	-	-	-	1						
伝染性紅斑	5	-	-	-	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	63	-	15	37	5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	66	1	4	17	16	12	7	3	2	-	1	2	1	-	-						
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	2	1	2	-	2	1	1	1	-	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	4	-	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	1	1	-	-	-	1
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	4	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				1

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第17週 (4月24日～4月30日)

令和5年5月24日

## <全国情報>

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(16.17)、山形県(9.05)、青森県(6.93)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は75例と前週と比較して減少した。都道府県別では30都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～9歳(34例)、10代(8例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(3例)、50代(1例)、60代(5例)、70代(6例)、80歳以上(13例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの)**: RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は和歌山県(3.77)、大阪府(3.19)、福井県(2.96)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.00)、福井県(0.74)、鹿児島県(0.74)、佐賀県(0.70)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福岡県(2.75)、愛媛県(1.97)、沖縄県(1.69)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は大分県(12.56)、富山県(12.14)、石川県(10.34)、宮崎県(10.34)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(5.06)、福井県(0.78)、石川県(0.72)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は群馬県(0.06)、鹿児島県(0.06)、宮城県(0.04)、広島県(0.04)、高知県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第10週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.48)、長崎県(3.32)、宮崎県(2.77)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は滋賀県(0.14)、福井県(0.09)、長崎県(0.09)である。

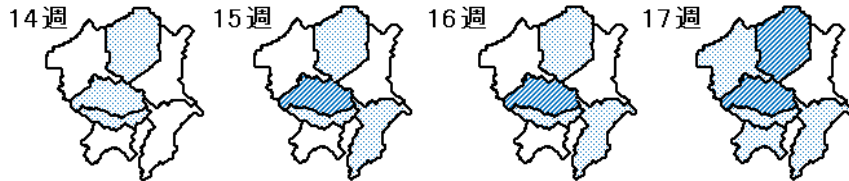
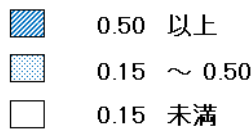
**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福島県(0.43)、大分県(0.27)、高知県(0.25)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。5都道府県から6例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、5～9歳(4例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年第17週(4月24日～4月30日)、2023年第18週(5月1日～5月7日): 通巻第25巻第17・18合併号 より

## <関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、栃木県(0.73)、埼玉県(0.72)からの報告が多い。

### RSウイルス感染症



2023年 17週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	10,945	2,298	99	66	313	432	364	630	394
	定点当たり	2.24	1.53	0.81	0.87	3.60	1.68	1.79	1.53	1.14
RSウイルス感染症	報告数	3,384	324	8	35	8	116	31	87	39
	定点当たり	1.08	0.34	0.10	0.73	0.15	0.72	0.24	0.33	0.17
咽頭結膜熱	報告数	987	258	15	6	13	78	36	82	28
	定点当たり	0.32	0.27	0.19	0.13	0.24	0.48	0.28	0.32	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	2,570	588	54	19	16	118	78	198	105
	定点当たり	0.82	0.62	0.70	0.40	0.30	0.73	0.61	0.76	0.47
感染性胃腸炎	報告数	15,503	4,044	235	123	240	849	469	1,341	787
	定点当たり	4.96	4.25	3.05	2.56	4.44	5.27	3.66	5.16	3.51
水痘	報告数	283	81	15	1	3	8	15	29	10
	定点当たり	0.09	0.09	0.19	0.02	0.06	0.05	0.12	0.11	0.04
手足口病	報告数	582	120	24	3	7	21	20	35	10
	定点当たり	0.19	0.13	0.31	0.06	0.13	0.13	0.16	0.13	0.04
伝染性紅斑	報告数	34	17	-	-	3	3	1	6	4
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	0.06	0.02	0.01	0.02	0.02
突発性発しん	報告数	1,042	354	14	19	24	77	41	99	80
	定点当たり	0.33	0.37	0.18	0.40	0.44	0.48	0.32	0.38	0.36
ヘルパンギーナ	報告数	1,020	83	8	-	1	13	7	34	20
	定点当たり	0.33	0.09	0.10	-	0.02	0.08	0.05	0.13	0.09
流行性耳下腺炎	報告数	107	36	1	4	2	7	8	6	8
	定点当たり	0.03	0.04	0.01	0.08	0.04	0.04	0.06	0.02	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	10	5	-	-	-	3	2	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.08	0.06	-	-
流行性角結膜炎	報告数	170	67	9	1	5	4	12	6	30
	定点当たり	0.25	0.33	0.53	0.08	0.36	0.11	0.35	0.16	0.61
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	2	-	-	1	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	0.11	0.09	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	12	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	22	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.05	0.02	-	-	-	-	-	0.04	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	6	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.09	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)

# 全国・関東情報

第18週 (5月1日～5月7日)

令和5年5月24日

## <全国情報>

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(9.26)、三重県(5.79)、山形県(5.42)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は66例と前週と比較して減少した。都道府県別では27都道府県から報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～9歳(33例)、10代(7例)、20代(1例)、40代(1例)、50代(1例)、60代(6例)、70代(3例)、80歳以上(8例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):** RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は和歌山県(5.03)、大阪府(3.14)、福井県(2.92)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.68)、佐賀県(0.57)、富山県(0.55)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.74)、福岡県(1.70)、山口県(1.53)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.16)、宮崎県(0.81)、福井県(0.80)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は宮城県(0.07)、栃木県(0.04)、福井県(0.04)、三重県(0.04)、高知県(0.04)、熊本県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.44)、長崎県(2.14)、佐賀県(2.09)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(0.13)、鹿児島県(0.13)、福井県(0.12)、宮崎県(0.11)である。

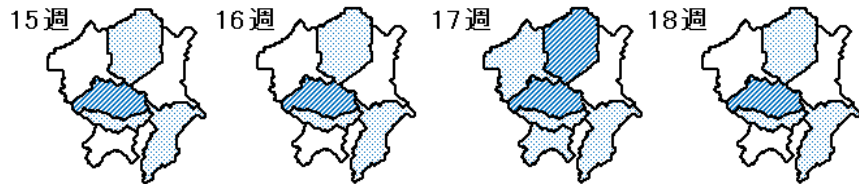
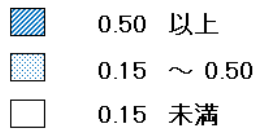
**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は青森県(0.17)、栃木県(0.14)、滋賀県(0.14)、兵庫県(0.14)、沖縄県(0.14)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。3都道府県から3例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、5～9歳(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年第17週(4月24日～4月30日)、2023年第18週(5月1日～5月7日): 通巻第25巻第17・18合併号 より

## <関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、埼玉県(0.56)からの報告が多い。

### RSウイルス感染症



2023年 18週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	8,316	1,748	86	88	243	373	219	455	284
	定点当たり	1.70	1.16	0.71	1.16	2.83	1.45	1.11	1.11	0.80
RSウイルス感染症	報告数	3,087	278	7	18	5	92	32	98	26
	定点当たり	0.99	0.29	0.09	0.38	0.09	0.56	0.26	0.38	0.12
咽頭結膜熱	報告数	879	254	12	8	9	70	39	66	50
	定点当たり	0.28	0.27	0.16	0.17	0.17	0.43	0.31	0.26	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,837	491	63	18	15	93	51	171	80
	定点当たり	0.59	0.52	0.84	0.38	0.28	0.57	0.41	0.66	0.36
感染性胃腸炎	報告数	10,898	3,129	237	68	133	663	392	1,027	609
	定点当たり	3.49	3.31	3.16	1.42	2.51	4.07	3.14	3.98	2.72
水痘	報告数	229	74	9	1	5	18	6	24	11
	定点当たり	0.07	0.08	0.12	0.02	0.09	0.11	0.05	0.09	0.05
手足口病	報告数	492	121	24	-	4	27	21	33	12
	定点当たり	0.16	0.13	0.32	-	0.08	0.17	0.17	0.13	0.05
伝染性紅斑	報告数	35	13	1	2	-	1	1	7	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.04	-	0.01	0.01	0.03	0.00
突発性発疹	報告数	789	256	15	15	12	48	36	78	52
	定点当たり	0.25	0.27	0.20	0.31	0.23	0.29	0.29	0.30	0.23
ヘルパンギーナ	報告数	886	104	6	3	-	8	12	43	32
	定点当たり	0.28	0.11	0.08	0.06	-	0.05	0.10	0.17	0.14
流行性耳下腺炎	報告数	96	35	1	-	7	3	6	11	7
	定点当たり	0.03	0.04	0.01	-	0.13	0.02	0.05	0.04	0.03
急性出血性結膜炎	報告数	7	6	-	-	-	5	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.03	-	-	-	0.12	-	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	158	62	8	2	4	5	9	5	29
	定点当たり	0.23	0.30	0.47	0.17	0.29	0.12	0.26	0.13	0.58
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	12	5	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	0.03	0.06	-	-	-	-	-	-	0.42
マイコプラズマ肺炎	報告数	11	2	-	1	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.02	-	0.14	-	-	-	-	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)



感染症発生動向調査  
2023年

- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)

## 感染症の流行状況 2023年 第20週

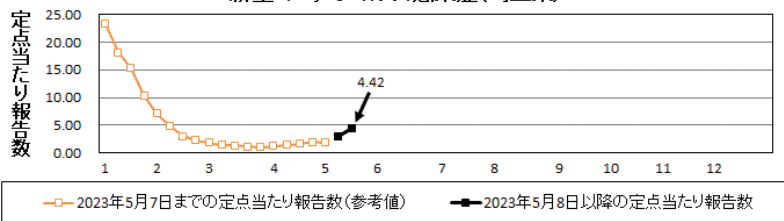
2023年第20週（5月15日～5月21日）の要点 令和5年5月24日

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週に比べ増加しました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)

新型コロナウイルス感染症(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↑	★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↑	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↑	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	↑	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン